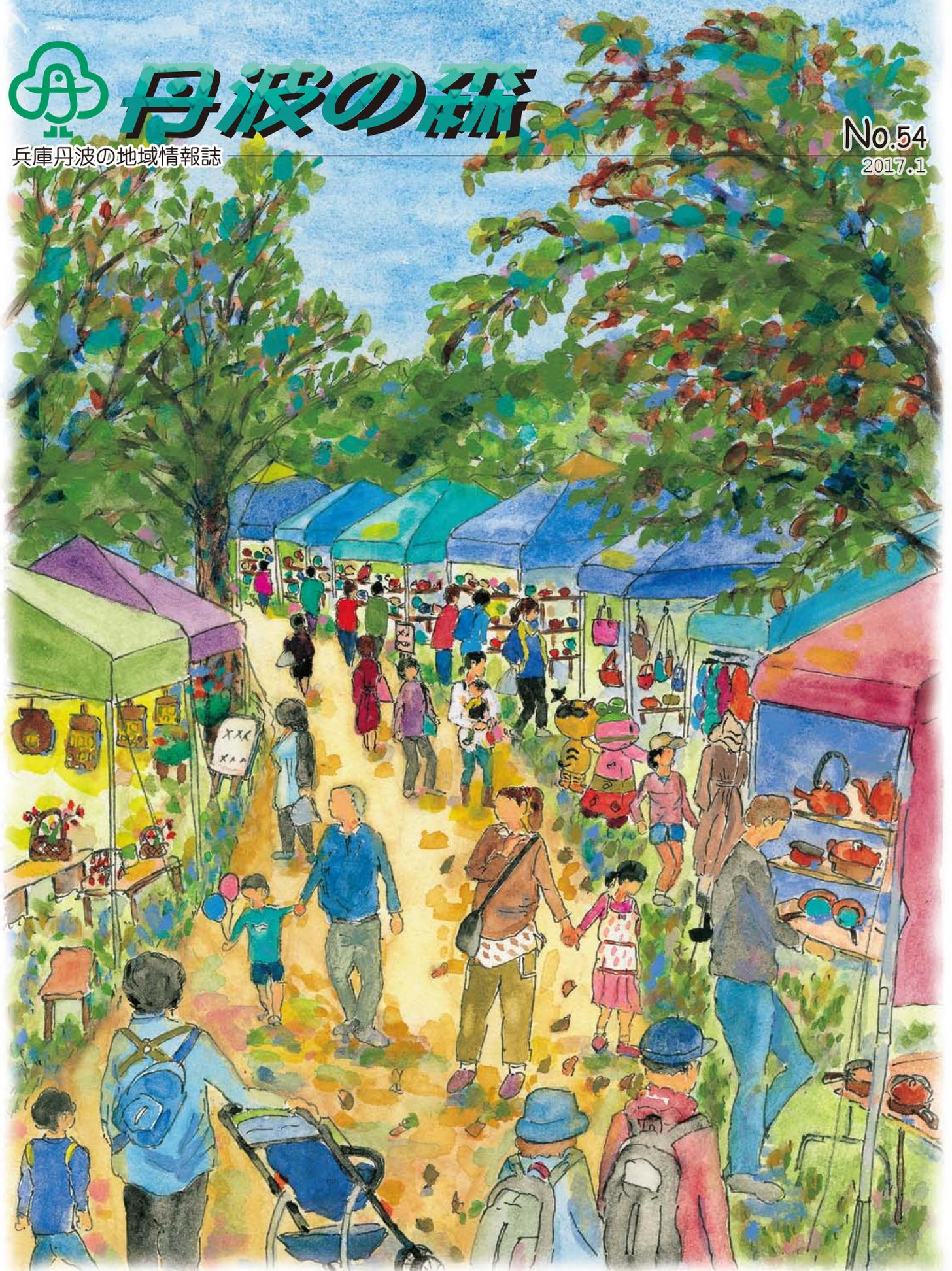




丹波の森

兵庫丹波の地域情報誌

No.54
2017.1



表紙絵「アートクラフトフェスティバル in たんば」 福田秀樹

* CONTENTS *

- ◆ 岩槻先生おめでとうございます！／再び丹波から発信！…p2・p3
- ◆ 森あそびのススメ…p4
- ◆ 青少年本部からのお知らせ／くらしあんしん…p5
- ◆ 丹波の森情報／丹波の森公園…p6
- ◆ 丹波年輪の里／ささやまの森公園／丹波並木道中央公園…p7
- ◆ むかしばなしでホッと一息／森のクイズ…p8

岩槻先生 おめでとうページがきます!!



丹波の森公苑長
丹波の森研究所長
中瀬 勲

2016年11月8日、コスモス国際賞の受賞記念講演会が大阪で開催されました。この賞は1990年(平成2年)に大阪の鶴見緑地で開催された国際花と緑の博覧会を記念して設けられました。ホームページ上に、授賞の対象として、「花と緑に象徴される地球上のすべての生命体の相互関係およびこれらの生命体と地球との相互依存、相互作用に関し、地球的視点からその変化と多様性の中にある関係性、統合性の本質を解明しようとする研究活動や業績であって、「自然と人間との共生」という理念の形成発展にとくに寄与すると認められるもの。」と記されています

(<http://www.expo-cosmos.or.jp/main/cosmos/about.html>)。

この栄えある賞を、丹波ご出身の岩槻邦男先生が受賞されたのです。1995年(平成7年)受賞の吉良龍夫先生以来、日本人として二人目、21年ぶりの快挙です。授賞理由として「岩槻邦男博士は、一貫して、生物が「生きていく」とはどういうことを総体として明らかにする姿勢で研究・教育を行ってきた (<http://expo-cosmos.or.jp/main/cosmos/jusyou/2016.html>)。」と記されています。

岩槻先生と筆者との関係ですが、1997年(平成9年)、岩槻先生62才の時に、この花博の関係で、ポストと称する国際的な植物情報センターの構想委員会ワーキングに入れて頂いたのですが、これはじめての遭遇でした。その後、1999年(平成11年)淡路景観園芸学校の基本構想の際にも同席

させて頂きました。先生は、園芸と造園のまとめ役として大変なご苦労されたことを記憶しています。その後、2003-2013年(平成15-25年)の間、人と自然の博物館で本格的なお付き合いさせて頂きました。高度な学術研究を基礎に、環境学習、自然学習を、セミナー室で、国内外の現地で、人々とともに、楽しみながら活動されていきました。丹波の皆様も、先生から、研究内容の一端を、丹波の森大学などで親しく学ばせて頂いたのではないのでしょうか。

丹波の森公苑、そして兵庫丹波の森協会があったからこそ、岩槻先生、そして霊長類研究の世界的な権威でおられる河合先生たち、丹波ご出身の先生方がおられたからこそ、このようなお話を聞くことができる最高の機会があったものと思います。このような丹波地域での伝統をより活性化しながら、継承していくことが大切と肝に銘じている次第です。

再び丹波から発信!



ふくろう爺さん、明けましておめでとういづつです。



おめでとう。寒い日が続くなあ。早く春が来てほしいのう。



そうね。去年のことになるけど、丹波の森公苑であった「ふれあいの祭典」に行ったの。一日目は雨でちよっと寒かったけど、二日目はお天気で沢山の人が来てたわ。美味しい食べ物も沢山あったし、舞台では踊りや演奏があって、本当に楽しかったわ。



ふれあいの祭典(平成28年10月29日、30日)



そうじゃったのう。「ふれあいの祭典」は、毎年1回、兵庫県各地域持ち回りで開催しているんじや。昨年は丹波で、いつもの「丹波の森フェスティバル」と一緒にやったんじや。

そうなんだ。だからいつもより沢山のお店や催しがあったのね。それに高校のお兄ちゃんたちも沢山来ていて、色々教えてもらって、作って遊べたし、お土産ももらえたわ。

「ふれあいの祭典」では、食のイベントや地域活動PR、エコフェスティバルなど兵庫の魅力を発信する場なんじゃな。今回は併せて「兵庫県高等学校工業教育フェア」も開催されて、生徒さんが色々なモノづくりイベントを考えたんじゃ。

そうだったのね。ポンドで木の箱を作ったり、ハンダで作る小さな鉄のお人形など、お兄ちゃんたちが教えてくれて本当に楽しかったわ。



ふれあいの祭典(兵庫県高等学校工業教育フェア)

色々楽しめたようで、良かったのう。ところで、たんちゃん「丹波の森大学」を知っておるかの。

聞いたことはあるよ。丹波の森公苑でやっているのよね。大学だから難しいの？試験はあるの？

はっはあ。試験はないぞ。年齢制限も特になしそうじゃ。

私ももう少し大きくなったら、入学できるのかしら？

もちろん、たんちゃんも大人になったら入学出来るよ。丹波の森大学は地域づくりや環境づくりを地域で実現するための学習の場として、平成3年に開設されたんじゃ。

豊かな丹波地域を創造するための講義と現地学習をまじえた講座をやっておるんじゃ。

ちょっと難しそうだけど、どんなお話をしているの？地域で活動している人たちが受講すると良いのかしら？

そうじゃ、地域活動をしている人たちはもちろん、沢山の人の聞いてほしいものだよ。普段の活動や生活とは違った角度からものを考える良い機会だと思うがのう。

「丹波の森大学」は、6月に始めて12月に終わる10回程度の講義なんじゃ。昨年は「再び丹波から発信する地域創生」を基本テーマとして、地域の問題解決について、国内で活躍している何人もの先生が講義してくれたんじや。難しいところもあったが、最新の地域づくり活動を丹波で聞くことが出来たことは本当に凄いなと思うぞ。

あつ、その話は聞いたわ。有名な大学の先生だったと。丹波の森大学は、どこに申し込めばいいの？

丹波の森大学を受講するには、4月になって、兵庫丹波の森協会に申し込めばいいぞ。



丹波の森大学(島根大学作野先生の講義風景)

丹波の森大学や地域イベントを通して、新しい丹波の地域づくりが活発になればいいのにな!

その通りじゃー丹波には美味しい食材や美しい自然をはじめ、恐竜化石もある...

あつ、地域資源を活用するフィールドミュージアムのことね!

さすがたんちゃん!丹波で推進している「丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム構想」は、まさ

に、地域の様々な資源や活動、体験を地域づくりに活かそうと言う取組なんじゃ。フィールドミュージアムの取組などを通して新しい丹波の地域づくりが発信できればいいんじやがのう。

そうね。私も早くフィールドミュージアムを体験したいわ!

プロフィール

たんちゃん

丹波地域に住む、小学4年の元気な女の子。ふくろう爺さんと話すうちに、丹波地域や地域づくりのことがだんだんわかり、おもしろくなってきた。

ふくろう爺さん

丹波の森に長く棲み、丹波地域を見つづけてきた長老のふくろう。地区ごとの地域づくりをあなたかく見守りながら、エールを送っている。

地域づくりは、地域の課題の解決と望ましい将来像の実現にむけて、地域の資源(人・モノ・カネ・情報など)をいかして持続的に取り組むことです。兵庫丹波の森協会/丹波の森研究所は、支援が必要な地区の勉強会や計画づくりなどに研究員がかけアドバイスをしたり、ご相談に応じます。

ご連絡は

兵庫丹波の森協会(門上)へ
TEL:079-426-0000
TEL/FAX:079-426-0003
E-mail:moikerkyu@tanbamori.or.jp

森あそびのススメ

ショウジョウバカマ (猩々袴)

丹波の森公苑では3月下旬から4月中旬頃にかけて「ひだまりのみち」や展望台周辺の「ツツジのみち」などの湿り気が多い場所にひっそりと咲いた、薄紫のショウジョウバカマの花が見られます。

ショウジョウバカマは、ユリ科ショウジョウバカマ属の多年草で、春は高さ10～20cmの高さで花を咲かせますが、花が終わると高さが30～40cmほどに伸びます。

ショウジョウバカマの花の色は淡紅色から濃紅色まで幅広いバリエーションがあり、白色のものもありますが、花が咲いた後は一時的に細い花びらと棒状に伸びる雄しべが赤くなります。生育地は主に山野で、北海道から九州まで分布しています。

この花は和名では「猩々袴(しょうじょうばかま)」と書き、名前の由来は、花の咲いた後に一時的に赤くなることから、能楽に出てくる『猩々』の赤い髪を連想させ、さらに約30枚のササに似た葉がタンポポのように放射状に広がる姿を『袴』に見立てたことからきています。(他説あり)



ショウジョウバカマの花



ショウジョウバカマ



枯れたショウジョウバカマ
(右側の葉と花の枯れたもの一茎が伸びている)



オランウータン(漢字表記で猩々)
似ていますか?……

<名前の由来に関する他の説>

- 赤色の花がオランウータンの赤い顔に似ている。
* オランウータンを漢字で書くと「猩々」となります。
- 秋に赤く紅葉した葉姿を「緋色の袴」に見立てた。

などがあります。

春を告げる小さな花を探しに遊歩道を散歩してみませんか。

丹波青少年本部からのお知らせ

「丹波の森若者塾」紹介

今年度、丹波青少年本部事業として各高等学校が地域内に拠点を持つ大学のサポートを受けながら実施する「丹波の森若者塾」事業を活用して行っている地域活動を紹介します。今回は、「柏原高等学校」です。

柏原高等学校

「外国人ママによるクッキング教室」

国際理解教育活動として、外国人ママによるクッキング教室を開催しました。第1弾はフィリピンの料理に挑戦、第2弾では、カタギリ・ヘベッカさん（篠山市在住）を講師に迎え「ブラジル料理クッキング教室」を実施しました。



ブラジル料理にチャレンジ!

丹波出会いサポートセンター 会員募集中

はばタン会員（年会費:5,000円）
1対1の「お見合い」の場を提供します。

あいサポ会員（年会費:無料）
交流会など、出会いのイベント情報をお届けします。



「良い出会いがあれば結婚を…」と考えている皆様を応援しています。あなたも、一歩踏み出してみませんか？どうぞお気軽にご連絡ください。お待ちしております。
※プライバシー保護のため、来所による相談等は予約制とさせていただきます。

まずは
お気軽にお電話
ください。

丹波出会いサポートセンター（丹波の森公園1F）
TEL:0795-78-9130
開館日：水・土・日曜日9:00～17:15
祝日：年末年始（12月29日～1月3日）をのぞく

※会員登録には メール・インターネットのできるパソコン、スマートフォン等が必要です。

◆お問い合わせ先

丹波青少年本部 TEL:0795-72-5168 FAX:0795-72-0899

くらし



「“お試し”のつもりが定期購入に!?!」

通信販売で青汁を注文したら定期コースだったとか、500円でお試し商品だけを購入したつもりだったのに、気がつかないうちに定期購入を申し込んだことになっていたなど、健康食品や化粧品等の定期購入に関するトラブルが増えています。また、解約をしたいが電話が繋がらない。体に合わないのに解約を申し出たが定期購入だと拒否されたという相談もあります。

商品注文前の
チェック
ポイント

- 事業者名や連絡先等の記載があるか
- 契約内容や解約条件について記載があるか
- 記載がある場合は**
 - 【契約内容】
 - 定期購入が条件になっていないかどうか
 - 【解約の条件】
 - 定期購入期間内に解約が可能か
 - 解約の申し出先や方法

トラブルになった場合には
消費生活センター(局番なしの188)に相談

いやや

出前講座実施中 (費用無料)

センターが委託した消費者教育実践グループが、自治会や老人会などの集会に出向いて、悪質商法の手口と対処法についてクイズ等を用いてわかりやすく説明する、「出前講座」を行っています。ぜひご利用ください。

丹波消費生活センター(丹波の森公園内)
TEL(0795)72-0999 FAX(0795)72-0899

丹波の森公苑

※下記のお問い合わせ先 丹波の森公苑文化振興部 ☎0795-72-5170

丹波OB大学の受講生募集

- ①募集講座 大学講座（4年制、定員60名）
- ②対象 概ね60歳以上の篠山市・丹波市在住者
- ③受講料 年間12,500円
- ④受付期間 1月17日（火）～3月10日（金）
- ⑤主な講座の内容
 - ・特別講座 3講座（元阪神タイガースの川藤幸三さん、歌手の高石ともやさんなど、著名な講師をお迎えします。）
 - ・教養講座 3講座（豊かな生き方、生きがいがづくりなどをテーマに実施します。）
 - ・専門講座 5講座（受講生の希望に応じ、健康福祉、地域文化、生活創造の3コースに分かれ、各分野の専門家からお話を伺います。）
 - ・オープン学習 健康体操、秋散策、写真教室、料理教室など実習を中心とした学習を行います。
 - ・学外研修 全員で歴史遺産、文化施設などを訪問します。
 - ・運動会 玉入れ、輪投げ、応援合戦などの種目に汗を流します。
 - ・クラブ活動 パソコン、書道、グラウンド・ゴルフ、社交ダンス、童謡・音楽、詩吟、花、絵手紙、オカリナ、写真など新たな趣味に挑戦できます。
- ⑥問合先 丹波の森公苑文化振興部
※大学院講座（2年制、定員30名）も募集しています。



丹波の森新春書き初め展

- ①日程 ①1月25日（水）～1月29日（日）
②2月2日（木）～6日（月）
- ②場所 ①丹波の森公苑多目的ルーム、創作工房、展示ギャラリー
②篠山市立四季の森生涯学習センター東館
- ③内容 丹波地域の小、中、高等学校、特別支援学校の児童生徒と一般の方の書道作品を展示します。
※一般の方のみ出品料2千円が必要です。



展示ギャラリーの利用案内

丹波の森公苑の入口横にある展示ギャラリーでは、絵画、写真、彫刻などの作品を無料で展示できます。ぜひご利用ください。

- ①利用期間 休館日を除いて12日以内
- ②利用時間 9時～17時
- ③その他 展示期間中は、隣接の喫茶スペースを体験コーナーとして利用できます。



木エクラフトの拠点 丹波年輪の里

第13回

たんば はがき絵展

平成29年2月4日(土)～2月19日(日)

「たんば」にちなんだ風物・自然・祭りなどを題材にしたはがき絵の公募展。入賞・入選作品を含む全応募作品を展示します。



WOOD WORKER'S CRAFT (ウッドワーカーズクラブ)

平成29年4月29日(土) 10時～17時
30日(日) 9時～16時

木工作家たちによる手づくり市。お気に入りの手づくりの一品を見つけて来てください。

※ゴールデンウィークフェスタ4月29日～5月7日期間中は、他にも楽しいイベントを開催予定です。(ただし、5月1日(月) 休館日)



第6回 座つ展

一丹波で座る・木の椅子一

平成29年

4月29日(土)～5月7日(日)

*ただし、期間中5月1日(月) 休館

木工家15名が制作した木の椅子が「丹波年輪の里」に集まります。

見て、座って、木のぬくもりを実感してください。



春の木木市

平成29年5月20日予定

丹波市内の製材所等からDIY向けの端材が大集合! 掘り出し物があるかも?!

お問い合わせ先

～24種類の選べる楽しいクラフトメニューをはじめ、小さなアクセサリーから木のおもちゃ、家具作りまで、工具や材料をご用意してスタッフ一同皆様のお越しをお待ちしています～

みんなの工作室 兵庫県立丹波年輪の里

〒669-3312 兵庫県丹波市柏原町田路102-3

TEL.0795-73-0725 FAX.0795-73-0727

URL <http://nenrin.org/> E-mail: mail@nenrin.org

木工作利用時間 9:00～21:00 (工作受付は16:00まで)

休館日 毎週月曜日(祝日の場合は翌平日)

入館無料

工作室使用料一般100円、中学生以下50円(材料費別途要)

団体貸切要予約

兵庫県立ささやまの森公園

平成29年1月

・木炭と盆栽を作ろう(全2回)

第2回炭焼き

・バードフィーダーを作ろう

・とんど祭&もちつき大会

・こんにゃくを作ろう

・ダンボール箱でくん製を作ろう



バードフィーダーを作ろう

2月

・冬の生きものを探そう

・バームクーヘンを作ろう

・黒豆のお味噌を作ろう

・木炭とミニ囲炉裏を作ろう(全2回)

第1回コナラの伐採と

ミニ囲炉裏づくり



木炭とミニ囲炉裏を作ろう

3月

・シイタケ作り(全2回) 第2回植菌

・ナチュラルタペストリーを作ろう

・草木で染めよう～ネコヤナギ～

・冬の野鳥を探そう

・間伐材を使ってフォトフレームを作ろう

・木炭とミニ囲炉裏を作ろう(全2回)

第2回炭焼き

・ダッチオーブンでローストチキン

・四季の和菓子を作ろう(早春編)

・シカ肉でウインナーとコロケを作ろう



ナチュラルタペストリーを作ろう

兵庫県立ささやまの森公園

〒669-2512

兵庫県篠山市川原511-1

TEL079(557)0045 / FAX079(557)0201

URL : <http://www.sasayamanomori.jp/>

E-mail : csr@sasayamanomori.jp

兵庫県立 丹波並木道中央公園

公園のイベント

■ノルディックウォーキング：毎月第3日曜日

■花と緑の教室：月に1回程度開催

■木工教室

大人の木工教室 毎月第1土曜日、毎月第3土曜日 10時～15時

子どもクラフト 適宜開催 (*親子活動などでの団体受付は随時)

■プリザーブドアレンジメント：

年に7回程度開催(2月中旬：おひなさまアレンジ予定)

■冬の味覚市：2月26日(日) 10時～15時

その他、公園では様々なイベントを開催しています! 詳細は公園のHPまたは、広報紙「PARK LIFE」をご覧ください。



■地図

自動車：
舞鶴若狭自動車道
「丹南篠山口I.C.」
から約5分

電車：
JR 福知山線
「丹波大山駅」から
徒歩10分



兵庫県立丹波並木道中央公園

〒669-2221 兵庫県篠山市西古佐 90 番地

TEL 079-594-0990 (8:30～17:30)

FAX 079-594-0991

駐車場利用時間：8時～17時30分

入園料、駐車場とも無料

HP <http://www.hyogo-park.or.jp/tanba/>

Facebook: <http://www.facebook.com/namikimichi.park>

Twitter [namiki_michi](https://twitter.com/namiki_michi)

むかしばなしでホッと一息

日置の裸榿

磯宮八幡さんには、大へんめずらしいかやの木があります。

秋には、はだかの実がなるので、『はだかがや』とよばれています。今では国の天然記念物になっています。

このはだかがやは、そのむかし足利尊氏が京都のいへんにまけて、九州までにげていくとちゅう八幡さんにおまいりした時のことです。

「いっせ おおじ上がひんたやご。」

「やあ、これはめずらしい。どうもありがとう。」

尊氏は、お茶菓子として出されたかやの実の皮をむいて食べようとしましたが、

「やあ、これはかたい、かたい。かたい実は、えんぎが良いぞ。」

と言いながら、大へんめずらしいで、うらにわに一つぶの実をつえておきました。そして、八幡さんに

「この実が芽を出して大きくなり、きつといくさにかちますように。」

と、お祈りました。

そして、わずかの家来を引き連れて、西へ西へと落ちのびて行きました。それから、十日すぎ、二十日すぎのうさじに、かやの実が芽を出して、だんだん大きくなっていき

二年もすぎると、木はおとな

の背の高さぐら

いになり、かや

の実が五・六こ

なりはじめまし

た。しかし、こ

れはふしぎ、ど

の実もどの実も

皮のない実がな

っているのです。



この話を聞いた村の人たちは、

「そんなことあるもんか。それは、いねが不作になるしやないか。」

「いや今年は、栗や柿のなり年やろう。」

「でもふしぎなことがあるもんじゃのう。」

と、わいわいさわぎはじめました。

今では、木の根元が子どもが四・五人手をつないだほどの大木になって、毎年秋になると皮のな

いかやの実がいつばいになっていきます。

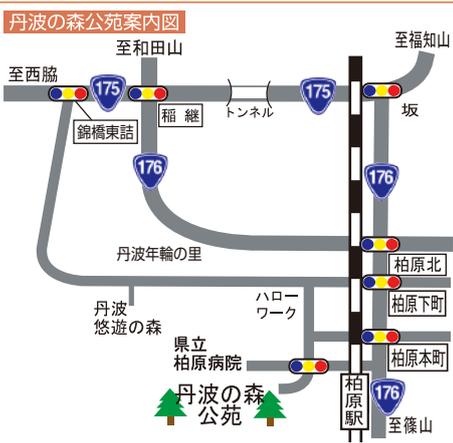
(丹波のむかしばなし第九集より)

全国でも例がないといわれる「裸榿」は、樹齢約七百年といわれ、国の天然記念物に指定されています。足利尊氏の伝承があり、神木として大切に保存されています。

好評発売中

丹波(篠山市・丹波市)のむかしばなし(第1集～第10集)……販売価格 各500円
 丹波の森の草花・丹波の銘木ガイド……販売価格 各500円
 改訂版 丹波地方の動植物「草木と生きものガイド」……販売価格 600円

【お問い合わせ先】(公財)兵庫丹波の森協会 Tel.(0795)73-0933



(公財)兵庫丹波の森協会

〒669-3309

丹波市柏原町柏原 5600

Tel.0795-73-0933

Fax.0795-72-5164

http://www.tanba-mori.or.jp

E-mail: morikoen@hk.sun-ip.or.jp

印刷 ウニスガ印刷株式会社

森のクイズ

写真の植物は、丹波の森公園の遊歩道沿いで見かけることがあります。

9～10月頃に白い花が咲きますが、名前は何というのでしょうか。

- ① コウヤボウキ
- ② タンバハタキ
- ③ ヒエイチリトリ

(ヒント)一昨年、開創1,200年を迎えた地名に関連します。竹箒の代わりに利用したことが名前の由来です。

正解者には抽選の上、協会から記念品をプレゼントします。クイズの答えと住所、氏名、ご意見などを書いてハガキで事務局までお送りください。(〆切2月28日)

